

職場の電気時計撤去される！ 業務改革の一環だ！

2月6日、静岡運輸区庁舎内の壁掛け時計が全て撤去されました。

私たちは時間で動く仕事をしています。

その職場の時計を撤去するということは暴挙であると言わざるを得ません。

維持管理に莫大な費用が掛かると噂されていますが、撤去により維持管理費が無くなり

「業務改革」における800億円のコスト削減の一部になると考えられます。さらに、維持管理する信通社員の業務にも関わります。「業務改革」により2,500人の削減を目指しているのですから、信通社員の要員や業務内容にも影響が出ます。電気時計の維持管理が無くなり要員が減るのか、あるいは、「業務改革」による駅無人化での「集中旅客サービス」等の設備の維持管理に人手が必要となるから電気時計を撤去して他の設備の維持管理に人手を回そうとしているのか等が考えられます。

この様に「業務改革」を10～15年掛けて行うとしても、既に私たちの身に降りかかってきています。「業務改革」は、私たちに不安を抱かせ職場環境を悪化させるものとして現れています。今後もコスト削減としてどのような事が行われてくるのか分かりません。

黙っていても受け入れた事、認めた事になってしまいます。

組合でも会社でも声を上げることが重要です。

みんなで声を上げ職場環境を改善して行きましょう！